

# DAIDO CAMPUS

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2003.1.27 No.43

編集・発行 大同工業大学社会交流センター

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3

TEL 052-612-6193

## No.43



初積雪のキャンパス(1/6撮影)

## CONTENTS

### 学長の初夢

#### 2010年わが大学 澤岡 昭学長

#### 国際交流

海外研修報告 萩原伸幸助教授

#### TOPICS

木造住宅は地震に対して安全か

#### ゴビーの散歩道

水神様 久保田 稔教授

#### キャンパスライフ

駅伝カーニバルで初優勝

ITF中部テコンドー選手権優勝 他

#### アンテナ

3大広場のネーミング決定  
豊明中学校職場体験学習 他

#### ディットちゃんのおじゃま

佐藤ハンドボール部監督

#### 就職状況とアドバイス

朝日新聞工学系座談会

#### INFORMATION

季刊

大同工大キャンパス



新春号 2003

JANUARY

# 1

# 2010年わが大学

2006年10月15日、長年の準備が実り私は遂に宇宙飛行士として国際宇宙ステーションに2週間滞在して無事帰還した。スペースシャトルによる帰還を期待していたが、結局、行きも帰りもロシアのソユーズによる飛行であった。

ソユーズロケット打ち上げまでの事情については、昨年のキャンパス1月号の中で述べた。昨年は惜しくもロケット打上げ直前で話は終わった。今年の初夢の中で続きを見たいと期待したが、見たのは病院の集中治療室でのあわれな自分の姿であった。ベットでの私は焦っていた。もうすぐオープン予定の木曾駒澤岡塾の準備が遅れていたからである。この塾は大学教員の養成所であると同時に、どうしたら生き活きとした魔法のような授業ができるかの研究所でもあった。塾の資金集めが頭痛の種であった。我が国最年長の宇宙飛行士といえども、資金集めには弱かった。

澤岡塾構想は大同工業大学の経験とその後のロシアでの宇宙飛行士の訓練を通じて生まれたものだ。宇宙飛行士体験談は別の機会にゆずり、ここでは過去6年の大同工業大学がたどってきた歩みについて振り返ってみよう。

以下のストーリーは2010年1月にタイムスリップして進められている。文中の私の事故体験もフィクションであることをお忘れなく。

2010年元旦、私はアメリカ・ニューメキシコ州アルブカーキ大学付属病院の集中治療室にいた。頭を強打して丸2日間、記憶を失っていたが、この日、徐々に記憶が回復していた。しかし、航空機事故当日の記憶は思い出せず、結局、何が起こったかはその後、事故報告書を見るまで分からなかった。この事故については後で述べよう。記憶が回復するにつれて、鮮明に蘇ってきたのは日本人最年長の宇宙飛行士としての私の国際宇宙ステーション滞在大同工業大学の躍進ぶりについてであった。そうだ、今年の3月には本学の基となった大同工業学校誕生70周年を記念して建設されている大学の未来講義棟が完成し、眠らない大学が活動を開始するのだ。

## 2005年、 激動を乗り越えて

2004年は本当に激動の年であった。徐々に減少を続けてきた18歳人口が急減した年であると同時に、大学設置基準の大幅な規制緩和が行われたからである。

この年にすべての国立大学が独立行政法人に変わった。独立行政法人大学へは、国から一定の資金が交付金として与えられた。それぞれの大学が教員の給料を含めて、交付金をどのように使用しても良いのだ。十分な額の交付金が得られる内は良かったが、2008年頃から交付金が減額され、苦境に陥った大学もあった。

それは我が国の国家財政がとんでもなく苦しいからであった。独立行政法人大学は

授業料を別々に決めることができたので、志願者の多い大学が授業料の値上げに踏み切るのは時間の問題であった。

2004年は私立大学にとって本当の試練が始まる年であった。この年から大学としての条件が満たされていけば、新しい学部や学科が簡単に設置できるようになったからである。定員の規制がなくなり、いくらでも学生定員を増やすことができるようになった。もちろん、その数に見合った教員が必要であることは言うまでもない。規制を緩める代わりに、経営が立ちゆかなくなった大学に対して、国は援助しないことも決定された。2004年は大学自由競争元年であった。

大同工業大学は情報学部メディアコミュニケーション学科を2006年に開設することを決め、2005年春から大々的な広報を開始した。すでに2004年には情報学科の中に、メディアコミュニケーションコースを設けて、全く新しいカリキュラムでの授業を開始しており評判は上々であった。

このメディアコミュニケーションコースは、企業人として必要な最低の理工系の知識をもち、表現技術(E T)と情報技術(I T)とを使いこなせる感性豊かな新しいタイプの文系人間を育てるユニークなコースとして社会から注目されていた。新コースのシンボルE T & I Tは本コースのトレードマークとして登録された。

2002年12月の週刊誌サンデー毎日の特集号に面倒見の良い大学ランキングとして愛知県の私立大学で取りあげられたのは、本学と南山大学のみであった。しかし、全国的には第12位であり、第1位の金沢工業大学に大きく水を空けられていた。それが、わずか3年後の2005年には全国3

位に急上昇したのであった。

大同工業大学は2001年に、履修単位を制限するキャップ制を導入し、苦勞の末、3年後の2004年度に定着させることに成功した。文部科学省は大学や学部を新設する時には、キャップ制を導入するよう行政指導を行っており、その模範校として、本学を例に挙げることがしばしばであった。

本学の行ったキャップ制運用上の最大の改良点は、単位を落とした学生に対する集中補講を夏と春休みに行くことであった。限られた科目のみであったが、期末試験の結果、理解が足りないと判断された学生に対して、2週間の集中補講と再試験が実施された。これによって、連続性のある科目を落としたため、その後の科目を履修することができなくなり留年する学生の数がめっきり減った。

大同工業大学の新制度が画期的なのは、学生だけではなく教員に対しても、新しい試みが行われたからである。集中補講は本学の専任教員ばかりでなく、特別の資格をもつ非常勤講師によっても行われた。集中補講は通常の授業に比べて、一人一人の学生を懇切丁寧に教える必要がある。そのために、教員自身が特別セミナーに参加して、授業について行けない学生の教えかたの教授法について研究する必要があった。

セミナーに参加した教員は教授法の試験を受け、合格者には特別講師の資格が与えられた。後日、大同工業大学の特別講師の資格は大学教員の肩書きとして、学外でも知られるようになり、後に述べる新制度が生まれるきっかけとなった。

1年間の試行を経て、2003年度に発足し



スペースシャトル操縦シミュレーターにて

た学習支援センター(アップル・ケア・センター)も本学の看板として有名になりつつあった。

大同工業大学は生き生きした学生を社会に送り出すことに全力を傾ける大学、面倒見の良い大学として評判は高まる一方であった。

## 2008年、画期的な新制度が導入される

日本の大学数がピークを示したのが2005年であった。2002年に99あった国立大学は、統合によって60に減少したが、多くの短大が4年制大学に昇格し、さらに新設の大学が加わり、2005年の大学総数は700校に達していた。

一方、18才人口は1991年の205万人をピークに、2005年には137万人となり、14年間に33%が減少していた。この間、定員割れの大学は増え続け、多くの大学が姿を消していった。

強い大学は定員増を行い、弱い大学の志願者は減る一方であった。幸い大同工業大学の志願者数は2003年から5年間変化することなく、入学者の学力水準はわずかずであったが、高まりつつあった。

大同工業大学では、キャップ制導入以来、可能な限り少人数のクラスによる授業を行ってきたが、きめ細かい授業を行えば行うほど、教員の授業負担が大きくなり、限界を超えていた。思い切った制度改革を行う必要があった。専任教員が担当する科目は、基礎科目と10人程度のゼミやグルー

プ学習、卒業研究などの個人指導に集中し、応用科目や展開科目の大部分は非常勤講師の授業に切り換えられた。

2005年以降、本学の非常勤講師には定期的に教授法セミナーに出席することが義務づけられた。授業内容についても、専任教員が行う授業との十分な調整が行われた。2004年度からスタートした集中補講の特別講師と同様の資格制度がここにも導入されたのである。

この仕組みが全国的に知られるようになり、2007年には本学が中核になって、社団法人大学授業開発センターが名古屋に発足した。この制度に加盟する

大学で授業を行う非常勤講師はこのセンターに登録して、資格審査を受けなければならなかった。

このセンターは常時人材を公募し、研修を行っていた。我が国は2010年になっても依然として経済活動は縮小気味であり、企業は人材を放出し、学生定員を減少させる大学も多く、非常勤講師の人材確保には事欠かなかった。大学の経費負担は、非常勤講師への報酬のみで、研修や研修期間の教員への手当はすべて国庫補助金で賄われた。私学補助金を廃止する代わりに、新設された制度の一つが、非常勤講師助成制度であった。

2010年には大同工業大学は専任教員によって少人数の授業やグループゼミ、個人の研究指導を徹底する異色の大学として、社会から認知されたのである。

## 2010年4月15日

大同工業大学は2010年4月に、大学創立70周年を迎えた。記念事業の目玉である未来講議棟の完成を待って、4月15日に式典が行われた。この講議棟では朝7時から夜11時まで授業が行われた。直ぐに学生からセブン・イレブン講義棟とあだ名が付けられた。自習室とゼミ室は24時間開かれており、学習に相談にのってくれるインストラクターが23時まで常駐していた。

2008年からまず情報学部で前期と後期に全く同じ科目を開講する試みが開始され、2010年度からは工学部と医療工学部でも実施された。前期と後期に同じ科目を開講

する試みは、既に東海大学のような大規模大学で10年以上前から行われているが、中規模大学では初めての試みであった。

限られた教員数では、とても前期と後期に同じ科目を開講することはできない。これができるのは、複数の大学が連携して授業の相互乗り入れを行ったからである。それぞれの大学のアイデンティティは専任教員によって行われる授業やゼミなどによって保たれていた。特色を打ち出すことができない大学はいずれ姿を消す運命にあった。

## 航空機事故 夢体験

私は2007年に68歳で国際宇宙ステーションに搭乗した。あれから、私は高齢者の星として、国内はおろか、世界中から講演に引っぱりだこの忙しい毎日であった。

移動の多い不規則な生活のため70歳の時には、電車のレールの上を踏み外すことなく10mも歩けなくなり、平衡感覚に不安を感じて航空機操縦をやめる決心をした。

私が航空機操縦免許をとったニューメキシコ州ソコロ市で単独飛行を行った後で、パイロットの免許を返上することとした。2009年12月30日15時から4時間、私が最初の訓練を受けたと同型のセスナ172N型機を予約した。夕日に照らされた砂漠の単独飛行は悪いものではない。きっと飛びながら涙がでるだろうと思った。空との別れの儀式でもあった。

16時10分離陸、40分ほどでサンタフェ空港へ着陸、大急ぎでコーヒーを1杯飲み、トイレを使い、帰還の予定であった。しかし、高地にあるサンタフェ空港は風の方向が目まぐるしく変わっており、管制塔からの離陸許可まで1時間ほど待機させられた。

離陸は18時、既に夕日が落ちる寸前であった。ソコロ着は18時40分頃になるはずであった。ソコロ空港は18時に無人になり、すべてセルフサービスの田舎の飛行場であった。滑走路に近付いたところで、飛行機から信号を送ると滑走路の照明が点灯するはずであった。しかし、いくらスイッチを押しても、ライトは点灯しなかった。

薄明かりの中、滑走路はなんとか判別できたが、風向きを示す吹き流しはほとんど見えなかった。空港を無線で呼んだが返事はなかった。最寄りの定期便空港であるアルブカ・キ空港の管制官を呼んで、助けを求めべきであったが、不覚にも甘く見て着陸を決心して滑走路に進入した。



国際宇宙ステーションにドッキングするソユーズ宇宙船

事故調査官の報告書には、滑走路には約15mの右横風が吹いていたと記載されていた。左への横滑りから右ヘラダー（方

向舵）を操作して立て直しを行ったと思われる。着地直前にセスナは左に傾き、叩きつけられるように左のギア（車輪）が接地後、

機は反時計回りに270度回転して横転した。機は大破したが、火災が発生しなかったのは幸いであった。

救援が駆けつけるまで約15分、私は傾いた座席にベルトで固定されていた。全身強打のうえ左足首の複雑骨折であった。意識は全くなく、救急車はハイウェイを北へ、アルプカーキへ私を運んだ。

\*\*\*\*\*

2003年1月2日早朝、ベットの中で身体を動かすと肩が痛み、軽い嘔吐感が出て気分は最悪であった。だんだんと昨夜の自分の醜態がとぎれとぎれに思い出されてきた。飲み過ぎて階段を踏み外したのだ。骨折が心配であったが、大丈夫のようだ。とんだ初夢を見てしまったようである。しかし、大同工業大学については、正夢であって欲しいものだ。さあ今年も頑張ろう。

## 新刊著書を語る

### 日本企業は NASAの危機管理に学べ!

A5判260ページ  
著者 澤岡 昭(学長)  
出版社 扶桑社  
発行日 2002.8.20



NASA(アメリカ航空宇宙局)は創立以来、多くの危機を経験してきた。1970年、宇宙飛行士3人を乗せたアポロ13号ロケットが月に向かって打ち上げられた。地球と月の中間地点で、酸素タンクからガスが噴出し、燃料電池の大部分が機能停止するという事故が発生した。乗組員の帰還は絶望的と思われたが、奇跡的に3人の宇宙飛行士は無事地球上に降り立つことができた。このような危機を乗り越えたこともあるが、地上テスト中におきた飛行士3人の焼死事故、スペースシャトル「チャレンジャー」爆発事故などの悲劇も経験した。

アメリカはとてつもない授業料を宇宙開発の失敗によって支払った。それがあつたからこそ今日のNASAがある。失敗から何も学ばないのは愚か者である。NASAの危機管理の基本はあらゆる不測の事態に対する日常の訓練と、最悪の場合でも国民を味方につける準備を常に行っている点にある。

米・ソの宇宙開発競争時代からの流れを分かりやすく纏め、失敗を細大漏らさず分析し、貴重なデータとして活用しているNASAの危機管理から、日本企業の危機管理のあり方について述べた。

日本はいたるところで同じ過ちを繰り返している。近年では原子力燃料製造事故、牛乳の細菌汚染事故、狂牛病の日本上陸阻止の失敗などを様々な組織が引き起こし、社会の憤りや嘲笑を招く結果となっている。我が国はNASAの危機管理の考え方を学ばなければならないと私は主張しました。

### ハンドボール強化指導教本(ビデオ) NTS 2002ナショナル・トレーニング・システム

A4判79ページ、ビデオ:カラー84分  
著者 佐藤壮一(教養部保健体育教室助手)他  
出版社 財団法人日本ハンドボール協会  
発行日 2002.8



私は、競技歴(代表経験等)と本学のハンドボール指導者としてのスタートが一致し、NTSナショナル・トレーニング・システム(以下NTSと省略)の委員となる。組織の立ち上げから、教本やビデオの策定、各カテゴリーのインストラクターとして携わり3年目を向かえ2002年度版の教本とビデオの策定プロジェクトチームに加わった。平成12年に文部省よりスポーツ振興基本計画が打ち出され21世紀の課題として(1)生涯スポーツ社会の実現に向けて地域社会におけるスポーツ環境の整備充実(2)我が国の国際競技力の総合的な向上(3)生涯スポーツ及び競技スポーツと学校体育・スポーツとの連携を推進。以上の国策に基づきJOCが各競技団体へ「一貫性指導システムの構築」を掲げた。その到達目標として、「2005年を目処に競技団体がトップレベルの競技者を育成するための指導理念や指導内容を示した競技者育成プログラムに基づき競技者に対し指導を行う体制を整備する」としている。これがNTSであり、全国の指導者に浸透させるために必要な教本とビデオである。これからは子供たちが夢を持てるようなシステム創っていききたい。又本学(大同学園)も国策が実施できる数少ない素晴らしい環境と考える。

## 海外研修報告



建築学科助教授  
萩原 伸幸

このたび本学より海外研修の機会を与えられ、9月より1年間の予定でアメリカ合衆国ニューヨーク市にあるコロンビア大学に客員研究員として滞在しております。ニューヨークという街自体については、もはや何の説明も必要ないかと思ひますし、加えて、コロンビア大学も多くの皆さんがよくご存知の大学ではないでしょうか。同時多発テロという悲惨な事件もまだ記憶に新しく、また、依然として再びテロの標的となる可能性も拭いきれないのですが、ニューヨークの街そのものは、そのような事件があったのかと思うくらい活気に溢れています。日本の朝のTV番組でも、定期的にニューヨークの街の生中継がなされていますのでご承知の方も多いと思ひます。

私の所属する学科は Department of Civil Engineering and Engineering Mechanics という、土木工学を中心に構造工学・応用力学関係の先生方が集まっている学科です。アメリカでは、システム同定と呼ばれる実際の建物の力学特性を振動計測などのデータから把握する方法が盛んに研究されていますが、私は、このシステム同定や構造物の応答制御に近年精力的に取り組んでおられる Raimondo Betti 教授にお世話になっており、これらの学問に触れながら、自らの専門領域に取り入れられるものを模索し、日々研

鑽しているところです。

さて、ニューヨークという街は、周知の通り、世界有数の大都会であり、その街の持つエネルギーには計り知れないものがあります。皆が夢を追いかけて、全米各地はもとより世界中からやってきます。反面、自分自身の目標をしっかりと持っていないと、途端に雑踏の中にかき消され、そして萎れてなくなってしまうのではと感じさせられるものがあります。ここで生きていくためには、たとえ小さなものであっても何か一つプライドを持ち、それを基に図固しいと思われるくらいの態度で自分自身のストーリーを築き上げていくことが必要のようです。このことが“傍観者”としてではなく、実際に暮らしてみても受けた衝撃でもありました。

テロから1年余り経過し、日常生活は平穏を取り戻していますが、私のような外国人の滞在者に対する状況は大きく変わりつつあります。コロンビア大学では International Students and Scholars Office というところから月に一度程度、Scholar News というものがメールで配信されるのですが、そこには様々な行事の知らせとともに、刻々と変化する入管関係の情報も掲載されます。ちょうど私が渡米した直後にビザ関係をはじめとしたいろいろなシステムが変わって、相当チェックが厳しくなったようですし、滞在中の住所管理も所属機関との情報の連携や、罰則の強化などで徹底されています。

ところで、私の研究テーマは、「空間構造の耐震性と応答制御に関する研究」というものです。自分がこれまでどのようなことをやってきたか、そして現在どのようなことに取り組もうとしているのかについては、まだ進行中かつ断片的な内容ではあるものの、Betti 教授に具体的に説明する機会がありました。Betti 教授は、「私のほうでどのよう



象徴的な建物である Low Memorial Library

なことができるか」と尋ねられましたので、そのときは、意見や批判があれば欲しいとお願ひしましたが、現時点ではまだ十分な議論ができるほどの材料は揃っていないため、後にもう少しまとまった成果を見せて率直な意見を伺えるようにしたいと考えています。一方、Betti 教授の研究室で行われていることは、私が本学に着任する以前に助手を務めていた研究室で行われている一部のテーマに共通するものがあります。実際、前述のシステム同定に関連して、数年前に一つの可能性あるアイデアとして議論した“ある数学モデル”を応用した研究が、まさにこの研究室で現実に行われていたことを知ったときは驚きでありました。これらの研究は、数学に造詣の深い Aerospace を専門とする他学科の先生との共同研究で行われており、そこには私どもの拠り所とする理論や解析を中心とした研究スタイルの脈動を色濃く感じることができます。

こちらに滞在して、じっくりと自分の足元を見つめ直せることは、今の自分にとって本当に難しいことだと実感しております。とかく研究を進めるために必要なものとして資金面の問題が多く取沙汰されますが、自分のような研究テーマやスタイルでやっていく研究者の場合には、まず腰を据えて一心不乱に思索する時間の存在が欠かせないものであることを改めて認識するに至りました。研究者として歩み始めた頃の、あるいは学位論文をまとめるために日々奮闘していた頃の、あの懐かしい気持ちに再び出会えたことは何より先変え難い喜びです。教職員および学生の皆さんには、私の不在のために有形無形の様々なご迷惑をおかけしているものと思ひます。このようなわがままをお許しいただき深く感謝いたしております。貴重な機会を後に最大限生かせるよう、残りの期間を有意義に過ごしたいと思ひます。



キャンパスを出て Broadway へ  
- 都市型大学の典型を見ることができる(左側は Bookstore)

# 木造住宅は地震に対して安全か

—実大の1/8模型を用いた耐震実験による検証—



水野松治さん

建築学科 教授 山本 俊彦

名古屋市守山区長栄の大工水野松治さん(73歳)から、約50年にわたる経験から考案した「たすき梁工法住宅」と通常工法の木造住宅との耐震性能実験をCRCが受託し、山本俊彦教授が10月23日、10月30日の両日にわたって実験を行った。「たすき梁工法住宅」の耐震性能は、通常の2.5倍以上の耐震性能があることが分かり、実験の様子は、11月7日、日刊工業新聞、11月8日、中日新聞から紹介された。この程、更に明らかになってきた実験結果について報告して頂いた。



## 1 はじめに

日本の木造住宅は、1995年の阪神淡路大震災により少なからず被害を受け、その耐震性について大きな疑問がもたれました。このためその後いくつかの研究がなされましたが、木造住宅の耐震性については依然として不明な点が多く残されています。これまでの研究では、木造住宅の柱や筋交い等部分的な性能の検証に関するものがほとんどで、建物全体の耐震性については必ずしも明らかになっていません。このため、在来工法による木造住宅全体の耐震性能を把握するため、大同工業大学で実在建築物の1/8模型を用いて耐震実験を行いました。なお、この実験は大工の水野松治さんの依頼によって行ったものです。

## 2 木造建物の歴史

法隆寺に代表される我国の伝統的な木造建物は、地震には比較的強い構造だと思われてきました。実際、これまで木造の五重塔は地震で倒壊した例はないと言われていました。これらは伝統工法による木造建物と呼ばれ、礎石に柱を立て足固めの貫(ぬき)上部の梁などで固定され、それなりの耐震性を持っていると考えられています。しかし、科学的に十分検証されているわけではありません。

一方、現在の木造住宅は、伝統的木造工法とはやや異なり、在来工法による木造建物と呼び伝統的木造建物と区別しています。在来工法による木造住宅はコンクリート製の布基礎の上に木の土台を設けこれに柱を立てています。柱脚部が固定されないため、筋交(すじかい:斜めの材)で補強し耐震性を持たせる点が伝統的工法との大きな違いです。1923年の関東大震災により伝統的工法による木造建物の被害が大きかったことから、その耐震性を改善する必要性が言われました。そして1950年の建築基準法の制定に伴ってこの点が法的に整備され、現在の在来工法による木造住宅の規準となりました。ところが、最近の研究によれば、前

に記した伝統的木造建物は必ずしも地震に弱いというわけではないということが、実験などによりわかってきました。このように木造建物については、研究が十分でなく鉄筋コンクリート構造や鉄骨構造にくらべ、まだまだわからないことが多くあると言えます。

## 3 在来工法による木造住宅の問題点

現在建てられている在来工法による木造住宅の耐震性の問題点として、これまで以下の点があげられています。

- ・筋交が十分効くような配慮がいる。端部での外れや、引き抜けが生じやすい。
- ・床面での剛性がなく、建物全体で地震に抵抗できない。
- ・布基礎がもうけられるため床下換気が十分でなく、耐久性の観点から木材の腐朽の問題がある。

## 4 木造住宅の耐震実験

試験体の実験状況を写真に示します。2階建て延べ床面積30坪の実際に建てられた木造住宅の1/8模型です。この住宅は、大工の水野松治さんが長年の経験と知識によって考案した「たすきがけ工法」によるものです。「たすきがけ工法」とは、壁面の筋交をたすきがけに用

い(平面的計画に配置できるところとなる:写真では裏面に配置)床面にも筋交を配したものです。現行の木造住宅の規準に準拠し、さらに前述の在来工法の問題点を改善したものです。

建物の耐震性を評価する場合、耐力と変形性能の2つが問題となります。現行の木造設計基準では、建物の自重の0.2倍の荷重が横方向(地震時の荷重)から加わった場合、建物の層間変形角(各階上下間の水平方向変形の差を階の高さで割ったもの)が1/120以下となるように規定されています。

実験では地震を想定して、左右(正負)両方から交互に荷重を加えています。この実験では、層間変形角1/100、1/50、1/25で左右交互に繰り返し載荷し、最後に左から層間変形角1/10まで載荷しています。実験結果を図に示します。地震時にかかる1階の水平方向の荷重(材料強度・模型則を考慮換算した自重倍率で表示)と層間変形角(2階と1階の変形の差を角度で表示)との関係を示しています。鉛直・水平筋交いの効果により、層間変形角1/120の時点では、建物は目立った損傷はなく耐力も自重1.0倍以上と極めて大きな値を示しました。実際、阪神大震災クラスの大地震でも、耐力が十分なら建物の変形はこの程度で収まります。通常の耐震設計では、保証変形といって実際に

想定される変形の2倍程度の大変形(ここでは層間変形角0.02radまで耐力が維持されるように考えます。この実験では、層間変形角0.02radでの耐力は十分で、さらに耐力は上昇し層間変形角0.06radで最大荷重が発揮されました。層間変形角0.10radに至っても大きな耐力低下はなく、この木造住宅は極めて優れた耐震性能を有していることが実証されました。

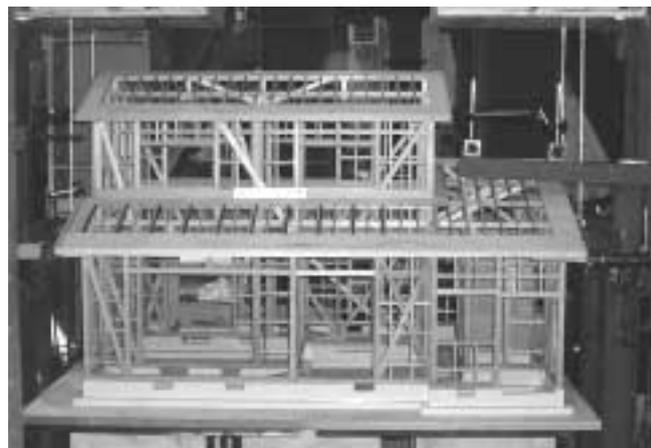
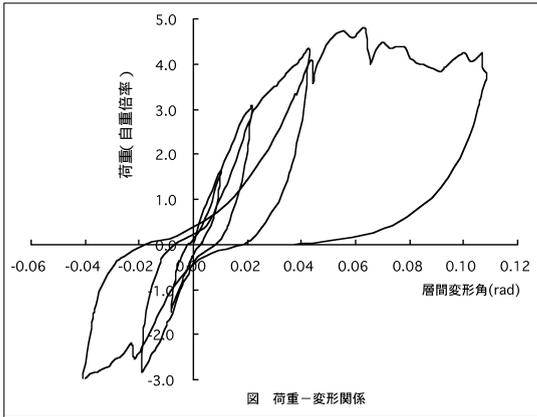


写真 木造住宅実験状況(たすきがけ工法)



## 5 耐震性の高い木造住宅

木造住宅は極めて耐震性が高いということが、この耐震実験から明らかになりました。もちろん現行の基準に準拠しさらに構造的な問題点を解消するような努力が必要です。しかし元来、木は軽くて強い材料です。たとえば比強度(強さ/密度)をくらべてみれば、木はコンクリートや鉄よりも強い材料です。従って、この実験での木造住宅のよう

に、材料の性能を十分発揮させる事が重要で

す。最後に、木造住宅の耐震性が確保されたとしたら残された問題はなんでしょう。それは木材の適切な維持管理であると言えます。木造住宅を長持ちさせるには「木材の腐朽」対策は必要不可欠で、現段階ではまだまだ十分ではないと考えられるからです。



## 水神様



都市環境デザイン学科  
教授 久保田 稔

「ちょっとすみませんが」と、農作業の休憩をしていた初老の夫婦に声を掛けた。ここは、長野県箕輪町東箕輪地区の農道である。

中央自動車道の伊北インターチェンジを降りて、天竜川に掛かる十沢橋を渡って天竜川左岸側を北上している最中、川幅4メートルほどの「沢川」を横切った。

偶然、その川の側に祀られている高さ2メートルほどの大石と水神様を見つけた。車を空き地に入れ、大石に近づく。この大石は人為的に二つに分割され、上部の石に「二つの内」、下部の石に「天保6末年正月寄之」と刻んであり、水神様には「大正15年建立」とあった。

これらの石にどんな謂れがあるのか興味が湧き、農道の側で一休みしている先ほどの夫婦に声を掛けた。ご婦人に謂れを聞くと、「余り詳しいとは知らないが、4月に村の全員が用水路の掃除をした後、水神様の近くでお酒を飲んだり食事をして、水神祭りをすると、教えてくれた。さらにしつこく大石の謂れを聞くと「6代になってから信州大学に入学した」村の郷土史家の家へ行く道順を丁寧に教えてくれた。御礼を言う前に、後々のためにずうずうしくも住所と名前を教

えてもらっておく。

私たち夫婦は数年前から、土曜日又は土・日曜日に掛けて月に数回天竜川へ行き、水に関する石碑の写真を撮ったり、昔の用水路や堤防跡を訪ねていた。

この様な旅行を始める数年前までは、天竜川を研究のフィールドにして、土石流への砂防ダム群の影響、洪水時での土砂の流出とその数値解析等、の研究をしてきた。その際、「よくもこんな所に住んで!!」、「この地域は何時も土砂災害に襲われている」、「私財を注ぎ込み親子4代でよくも堤防を作ったものだ」等と、徐々に研究対象と異なる目で天竜川を見るようになった。

子供から手が離れた初老の私たち夫婦にとって、諏訪湖流域の八ヶ岳から霜月祭りでは有名な南信濃村さらに火防の神様の秋葉山までが、「人びとと川との係わり」を訪ねる区域となった。

今回の旅は、天竜川左岸を竜野市まで走り、灌漑用貯水池「たつの海」を見ることであった。ところが、偶然見つけた大石に興味を湧き、すぐに今回の目的を変更。

教えて頂いた郷土史家の家に着いた。大石の謂れを聞き、幸いにも大石に付いて書かれた冊子を1部頂いた。お茶を頂きながら、明治時代の水争いの際に亡くなった人が、「俺の墓をあこの丘の上に建ててくれ、俺が隣村を睨んでいてやる!と、言い残して、その場所に今でも墓がある」と、聞いた。なるほどその墓からは、隣村がよく見えた。

なお、昭和の時代には、この大石を隣村と「俺の村の石だ!!」と、取り合いの争いになり、一時隣村へ運ばれたそうである。現在隣村には、この大石の代わりに石

が公民館前に置かれている。

家に帰る車の中で、「今日は偶然にも興味ある石が見つかった!」と、ご機嫌で家内に話をしながらようやく家に着いた。翌日、早速例のご婦人と郷土史家に礼状を書き、ご婦人には、近いうちに再度箕輪へ行くと言書き加えておいた。

数週間後、水神祭りの日にちに合わせ、手土産を持って箕輪へ向かった。

村の人々が三々五々、掃除道具を持って用水路の側に集まってきた。中年の人々に、水神様の謂れに付いて聞く。「昔からここにあったよ、なー」、「この沢川を守る水神だろー」、「等と自信無さそうに話してくれた。その時、80歳以上の古老が竹箒をもって水神様に近づいてきた。早速、「この水神様はなぜ祀ってあるのですか?」と聞いた。古老は、「明治時代に、この沢川の水が無くなり、天竜川から水を汲んで田畑に与えた。その天竜川へ感謝して、この水神を祀ったのだ」と、教えてくれた。

村人達にも、なぜ水神が祀ってあるのが、年と共にだんだん判らなくなっていくようだ。だが、村人達は、用水路を掃除した後、水神様に備えたお酒を飲み、今年1年の豊作を願う水神祭りをこれからも続けていく事だろう。



陸上部

駅伝カーニバルで初優勝  
名岐駅伝のキップを取得!



2003年名岐駅伝競走大会予選会を兼ねた駅伝カーニバル(愛知、岐阜両陸上競技会、中日新聞社主催)は12月15日、庄内緑地公園陸上競技場(名古屋市西区)を発着点とする周回コース、一般男子の部(6区40キロ、出場:15チーム)に出場した陸上部は、補欠選手もいない16名全員が日頃の練習成果を出し、2位の名城大学に1分27秒差をつける圧倒的な強さで初優勝しました。

1区、駅伝をよく知っている“南君”が、予定通りの走り、トップと19秒差4位で2区“大和君”に、東海学生トップクラスの彼は1キロでトップに躍り出る。3区の“大森君”にタスキを渡した時には2位に1分差を付ける快走。3区“大森君”、4区“奥野君”、5区“宇野君”と独走態勢のまま各エースランナーが集まっている最終区へ、時計を見ながらゆとりを持って“片桐君”がゴールイン。

1月26日に開催される名岐駅伝の出場権を獲得した部員らは、「名岐駅伝のシード権が目標」と意気込んでいました。

- 優勝 大同工業大学
- 2位 名城大学
- 3位 館俱樂部

- 4位 アスカムRC
- 5位 愛知大学
- 第1区(7.9km)  
02 M南康次郎 24分19秒 区間4位
- 第2区(7.6km)  
01 J大和立幸 22分37秒 区間1位(区間新)
- 第3区(5.0km)  
00 M大森弘之 15分42秒 区間1位
- 第4区(5.0km)  
02 C奥野拓 16分12秒 区間4位
- 第5区(5.0km)  
01 M宇野彰紘 15分41秒 区間1位
- 第6区(9.6km)  
01 E片桐雅樹 30分32秒 区間3位

テコンドークラブ

ITF中部テコンドー選手権  
廣瀬晴夫君が優勝



11月4日、ITF中部テコンドー選手権(岐阜メモリアルセンター)マッソギ(組手)マイクロ級(2部出場:15名)に出場した99M廣瀬晴夫君が、第4回長野県テコンドー選手権大会(10/6)の優勝に続いての快挙を成しとげました。

ポイント制によるフリースパーリング方式(3分1ラウンド、決勝戦2ラウンド)。1回戦はシードで、2回戦からの出場。相手は名古屋クラブ、同じ出身高校で同期生。緊張感も無く、リラックスして試合に挑む。試合開始、緊張気味で硬さが取れ無い相手を果敢に攻める廣瀬君、なす術も無く防戦一方の相手に“バンデチルギ”(逆突き)が決まる。1分余りで“KO”勝ち。準決勝戦は、長身選手で同門の岐阜道場の友、やり難い相手ではあったが、日頃の練習相手で手の内は分っている。一方的にポイントを稼いで楽勝する。決勝戦、東京出身で手強い相手、怯むことなく、チャギ(蹴り)

から得意の“バンデチルギ”を繰り出すが決まらない。カウンターブロー(チャギ)で応戦する相手。3分間の戦い終えて判定。一瞬場内に緊張が走る。審判の手が廣瀬君に上がる。“優勝”廣瀬君がツッポーズ。

廣瀬君は、高校時代に友人から“K1”のビデオを借用、前座で“テコンドー”の模範演技を見て感動。大学2年生の2月頃、父親から岐阜道場があることを知らされ、即、入門。休日を除く毎日4時間の猛練習が実り1年半での優勝。「これからが大変です。球技は全く駄目ですから頑張ります。」笑顔で語ってくれました。

吹奏楽団

観客を酔わす

「第17回定期演奏会」が、11月10日(日)愛知県女性総合センター、ウィルホール(東区上堅杉町1)で開催されました。

今年は4ヶ月も早い定期演奏会となったが、大津敦氏(ファゴット奏者、アンサンブル「響」)技術指導のもとでの厳しい練習成果が出て、練習不足とは感じられない素晴らしい演奏会でした。オープニングステージは、ポップスから「スパニッシュフィーバー」の陽気な曲に乗って、消防団員、研究員など趣向を凝らしたパフォーマンスで登場。「アントラの踊り」「マイウェイ」など5曲。ファイナルステージは大津敦氏の指揮のもと、シンフォニック「アルヴァマー序曲」「ブタベストの印象」など4曲。澤岡学長、教職員はじめハンドボール部員ら一般観客は、重厚感溢れる演奏に陶酔していました。

ハンドボール部員の声:日頃、試合の応援で、お世話になっているので来ました。素晴らしい演奏に感動しました。お客さんが少ないのが残念ですね。



テコンドー「足技のボクシング」の異名をとる多彩な足技が特徴的、1950年代に韓国で生まれた新しい武道。韓国に伝わっていた様々な古武術に、日本の空手などの要素も取り入れられ、崔泓熙(チェ・ホンヒ)氏(現ITF総裁)によって再編された。JITF(日本国際テコンドー連盟)が発足したのは、1982年。現在では世界100カ国以上で普及している。

10/6第4回長野県テコンドー選手権大会  
マッソギ(組手)

- 99M廣瀬晴夫 マイクロ級 優勝
- 02E杉浦龍司 マイクロ級 1回戦敗退



## ハンドボール部

### 全日本学生ハンドボール選手権大会 蒲生中部大を破る!

高松宮記念杯第45回全日本学生ハンドボール選手権大会が11月12日から17日にわたって、大阪市中央体育館等で開催されました。

1回戦、函館大学を順当に勝利し、2回戦では、優勝を狙う中部大学を第2延長戦までもつれにもつれた末に、1点差で破る大殊勲。準々決勝での日大戦では、立ち上がりのミスが最後まで尾を引いて惜敗。創部3年、全日本2度目の出場で、ベスト8に進出する活躍をしました。

1回戦 大同工大 23 - 19 函館大学

2回戦

大同工大 24	$\left. \begin{array}{l} 8 - 9 \\ 12 - 11 \\ \text{延長} \\ 1 - 1 \\ 1 - 1 \end{array} \right\} 23$	中部大学

$\left( \begin{array}{l} 0 - 0 \\ 2 - 1 \end{array} \right)$

3回戦(準々決勝)

大同工大 17 - 31 日本大学

### 愛知学生ハンドボール選手権大会 初優勝に澤岡学長が祝う

愛知県各大学4年生の送別試合及び3年生以下新チームの強化(トーナメント大会)を目的とした愛知学生ハンドボール選手権大会が11月23日から12月1日にわたって開催され、Aチームが初優勝を飾りました。佐藤監督は「この大会は、学生が主体となって、マネージメント、ゲームプラン、スカウティング等全てを行い優勝したことが大変評価できる。」インカレベスト8に輝いた大同のプライドを

持って闘っているモチベーションの差を感じた試合でした。

澤岡学長は12月4日、石井記念体育館で練習中のチームに、インカレの活躍、今大会の優勝祝の言葉を掛けられました。選手らは、新たな気持ちになって次の目標に立ち向かっていました。

優勝 大同工大A(レギュラー)

2位 名城大B(新チーム)

3位 中京大(新チーム)

4位 名城大A(4年生チーム)

1回戦 大同工大A 16 - 10 名城大学C

大同工大B 16 - 11 名古屋学院大学

2回戦 大同工大A 20 - 17 中部大学B

大同工大B 17 - 18 中部大学C

準決勝 大同工大A 25 - 12 中京大学

決勝 大同工大A 19 - 10 名城大学B

## ダンス部

### 中部日本プロアマ級別ダンス競技 D級ワルツ 宮田敬三・原子和美組が 富山大会で優勝!



宮田くん



原子さん

中部日本プロアマ級別ダンス競技大会富山大会(日本ボールルームダンス連盟中部総局主催)が10月27日、高岡エクルホール(富山県高岡市)で開催され、アマ・スタンダードD級ワルツ(出場51組)に出場した宮田敬三くん・原子和美さん組が優勝しました。昨年度、アマ・ラテンD級チャチャチャで優勝した験の良い富山大会での栄冠でした。また、ラテンアメリカンB級ルンバの部でも(出場25組)5位に入賞するなど大活躍でした。

9 / 22 中部日本プロアマ

級別ダンス競技岐阜大会

スタンダードN級ワルツ(出場36組)

6位 99 D宮田敬三・99 A原子和美

## バレーボール部

11 / 9 ~ 10 平成14年度

愛知大学男女バレーボール選手権大会  
グループ戦

大同工大A 2 - 0 名古屋外国語大学

大同工大A 0 - 2 中京大学A

大同工大B 1 - 2 愛知工業大学

大同工大B 0 - 2 愛知大学B

大同工大C 2 - 0 日本福祉大学

大同工大C 2 - 1 中京大学C

トーナメント戦

大同工大C 1 - 2 名城大学A

## ボート部

### 全日本の壁は厚い!

10 / 4 ~ 6 全日本新人選手権大会

シングルスカル

予選 1位 金沢大学C

2位 大同工大A(01 E石丸)

3位 東京外国大学A

4位 成城大学A

5位 東京農業大学B

6位 石巻専修大学B

予選 1位 早稲田大学A

2位 東レ滋賀A

3位 日本体育大学A

4位 大同工大B(01 J安藤)

5位 太田川B C

6位 立教大学A

## サッカー部

11 / 2 ~ 10 東海大学サッカー対抗戦

大同工大 0 - 0 岐阜聖徳大学

大同工大 3 - 2 東邦学園大学

大同工大 0 - 6 浜松大学B

9 / 1 ~ 10 / 6 愛知学生サッカーリーグ戦

大同工大 0 - 1 名古屋経済大学

大同工大 4 - 1 同朋大学

大同工大 2 - 0 豊田工業高等専門学校

大同工大 0 - 1 愛知大学名古屋校舎

## レーシングカート部

10 / 25 ~ 27

2002鈴鹿選手権シリーズ第7戦

01 M伊藤邦彦 F P - 3 決勝7位

02 M榎原康人 F P - 3 決勝34位

## 空手道部

10 / 13 秋季東海地区空手道選手権大会

団体(組手)1回戦敗退

個人(組手) 00 A夏山洋一 3回戦

00 M箕浦正和 2回戦

01 E加藤 正 4回戦

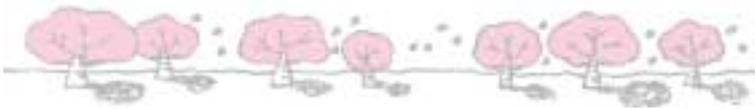
02 M川口英之 2回戦

02 E小澤浩介 2回戦

02 E杉山恭平 2回戦

00 C石原聖子 女子1回戦

個人(形) 00 A夏山洋一 8位



## 剣道部

9 / 23 第49回東海学生剣道優勝大会

団体1回戦

大同工大 5 - 2 愛知工業大学

団体2回戦

大同工大 0 - 7 浜松大学

9 / 16 第45回東海学生剣道新人優勝大会

団体1回戦

大同工大 1 - 5 常葉学園大学

## マウンテンバイク部

11 / 3 シバスラ&ダウンヒルスラローム

02 M青木健司 6位

10 / 5 ~ 6

フォード/スペシャライズド・カクタスカップ

02 M青木健司 55 / 168位

## バドミントン部

10 / 18 ~ 25 第22回愛知大学・

第47回愛知学生新人バドミントン選手権大会

シングル

02 J 花田純一 3回戦

02 M 加藤純一 4回戦

02 B 中川禎之 2回戦

ダブルス

02 M 妹尾・02 M 加藤 2回戦

## 卓球部

10 / 6 名張市長杯卓球大会

個人戦 02 A 奥中康博 2回戦

11 / 3 松阪選手権

個人戦 02 C 真弓佳典 3回戦

## 第39回 錦杯学内レガッタ大会

### 山田錦、DMCSCが圧勝!



優勝した山田錦のクルー

クラブ委員会主催、ボート部協力の本学恒例の学内レガッタ大会は11月23日(祭日)庄内川ボートコース(中川区下之一色)出漕40クルー(一般16、クラブ24)200名が競った。大陸からの寒気団の影響で肌寒い日が続いていたが、当日は小春日和に恵まれ、各クルーの応援団はお祭り気分であらゆる声援をおくっていました。

今年の大会も、一般の部で山田錦が6連覇、クラブの部でも、モーターサイクルスポーツクラブが4連覇を成し遂げるなど常勝軍団を脅かすクルーの出現はなかった。



#### 一般の部

1位 山田錦(OB)

2位 筋肉室(職員)

3位 燃料電池

4位 A T S

B位 松浦B

#### クラブの部

1位 バイアグレイ(DMCS C)

2位 チームたむ(バレーボール部)

3位 チームきたむ(バレーボール部)

4位 核搭載(テーブルゲーム)

B位 漫画研究

## アーチェリー部

10 / 27 02年度

東海学生アーチェリーウィリアムカップ

02 A 大橋正浩 リカーブ男子 137位

10 / 6 02年度

東海学生アーチェリー新人選手権大会

02 A 大橋正浩 リカーブ男子 18位

## 硬式庭球部

9 / 15 ~ 10 / 8

第52回東海学生新進テニス選手権大会

02M 高井康雄 2R 02J 鈴木康伸 2R

02M 平林一真 2R 02M 南地雄介 2R

00M 岸本圭太 SF

## フットサル部

10 / 26 ~ 27 第2回フットサル大会

決勝トーナメント 1回戦敗退

## 新任教員のプロフィール



教養部教職課程  
講師

おがわ かずみ  
小川 一美

最終学歴:名古屋大学大学院(教育発達科学研究科博士後期課程教育心理学専攻)

学 位:修士(教育心理学)

最終前歴:名古屋大学大学院  
教育発達科学研究科助手

生年月日:1973年12月23日

趣 味:スポーツ観戦

11月1日付きで本学に着任されました先生をご紹介します。

専門は社会心理学で、主に会話場面における印象形成の研究をしています。漫才などで絶妙なタイミングでツッコミを入れる人、話し上手なタレント、巧みな話術で授業を進める先生。日頃からこういう人たちのことが非常に気になっていました。そして、大学時代、自分が「話し方」や「会話」というものに人一倍興味を持っていることに気づき、それが研究テーマとなり、テンポのよい会話や心地よい会話とはどういうものかを科学的に検証しようと今も取り組んでいます。

ところで、数年前からF1観戦にはまっています。高度な技術と莫大な資金に支えられながらも、人間味あふれる出来事によって状況が二転三転してしまう、あのなんとも言えないバランスが好きです。工学や情報学といった最先端の技術も、そこに関わる人間の影響力は大きいはず。心理学とは「人間」について考える学問。学生の皆さんにも、人間の不思議さや面白さを感じてもらえたらと思っています。

# ディットちゃんのおじゃま



佐藤ハンドボール部監督

## 涙が溢れてきました!

佐藤 壮一郎 監督

ディット ハンドボール部の監督になったのは佐藤監督 子供とスポーツが好きだったので、大学卒業後は体育の教員が夢でした。でも、オリンピックを目指してみたくなり大同特殊鋼に入社しました。ちょうど、現役引退時期に大同特殊鋼へ本学から、ハンドボール部を創部するので、初代監督にとお誘いがあり、本学の考えと私の夢とがタイミング的にも一致したので、引き受けさせてもらいました。

ディット すばらしい部員(選手)をどのように募集したのですか。佐藤監督 監督(教養部保健体育教室助手)に就任することと、事前にフットワークのきく採用・教育関係の業務に異動させてもらいました。

全国選抜大会出場校、選抜出場外名門校、大同特殊鋼現役選手母校、私の友人・知人がクラブ顧問をしている高校を勧誘候補高校とし全国88校をリストアップし、可能な限り訪問して創部に伴う案内・挨拶をしました。

1年目は活動初年度ということもあり心・技・体の「心」の部分を重要視して、クラブ推薦入試で全国から12名を入学させました。当時、創部1年目によく12名も集まったねと色々な人達に言われたことを覚えています。

関東方面の勧誘は、私の日体大時代の友人が深く拘わってくれました。関西は、ハンドボール界における大同特殊鋼の知名度がかなり浸透していましたね。口説き文句に、大同特殊鋼ハンドボール部の専用寮に入寮できて、大同(全日本・韓国代表)の選手といっしょにトレーニングができるよって。

ディット 集まってきた選手のレベルは、高いと思われましたか。現在の強さは予想されましたか。

佐藤監督 特に記憶に残っている部員がいなかったのが普通程度であったと思います。ただ、DF・OFで核になれそうな選手はいました。先輩がおらず歴史と伝統がないために、トレーニングの雰囲気などに戸惑いを感じていました。何事に置いても、私がリーダーシップを発揮して、監督・先輩・マネージャー役をやっていました。何の勝負においても私が勝ち能力的に優れている者はいませんでした。

ただ、競技力向上には心・技・体のバランスが必要だと言って、彼らは心(取り組む姿勢)で全てを身に付けさせてきたので、指導者としては、教えられることが沢山ありました。性格に優る才能無し!

ディット 日頃の練習は、監督が現役時代と比べてキツイと思われませんか。

佐藤監督 日体時代(インカレ3連覇)に比べたら練習量ではかなり落ちています。当時を振り返ると、陸上部並に走っていました。それに、私生活の面では上下関係が厳しく毎日が刺激のある日々を送っていました。勉強の面では余り苦勞し

た記憶がありません。勉強もハードであつたら、あの練習は無理ですよ。(笑)

体育大学との比較や高校時代の生活スタイルから勉強の面では、かなりギャップがあると思います。現在は効率よく中味の濃いトレーニングを実施できるように心掛けています。

ディット 中部大との初戦(リーグ戦)は、どのような気持ちでしたか。

佐藤監督 初めて対戦したのは、平成12年の愛知学生選手権で1年生メンバーだけでしたけど、かなり善戦したので、次年度に手ごたえを感じていました。その約1年後、1部に昇格して、秋季リーグの開幕戦で19点差という大差で敗れました。秋季リーグ前の西インカレで中部大が初優勝して、大同はインカレ出場権も獲得できませんでした。実力以上にメンタル面の差を感じました。1部リーグやインカレで闘っている経験・環境の差を痛切に感じました。第2戦目以降気持を切り換えて、試行錯誤しながら、白星を重ねて秋季リーグでは上位に入って、インカレの出場権を獲得した時は、ホットしたことを覚えています。

ディット インカレで、中部大に勝った時の気持ちはどうでしたか

佐藤監督 19点差、14点差、8点差、対戦するごとに点差が縮まっていたので勝負にはなると考えていましたが、まさかあの大一番で第二延長の末勝るとは・・・優勝したわけではないんですが涙が溢れてきました。勝った瞬間より、試合の結果を知って様々な人から携帯電話に祝電が入るわけで、この重大さを実感しました。

目標達成後は、モチベーションの持続や初物に対しての戦術の対応など課題ができました。又、中部大も目の色を変えてリベンジに来るので自信が過信にならないように謙虚に頑張りたいと思います。

ディット 目標は、インカレ優勝なのは、わかりますが、次年度の目標を教えてください。

佐藤監督 当初の五ヵ年計画では、東海学生リーグ優勝、西インカレファイナル出場、インカレベスト4でした。毎年計画より早く達成しています。又初代のメンバーが最終学年なので数多くの思い出を作れるように努力したい。

ディット 最後に、今の選手たちが将来どのようになって欲しいですか。

佐藤監督 ハンドボールをなんらかの形で続けてもらいたいです。実業団に入り全日本を目指す者、ボランティア活動や教員になって子供たちに指導する者、大会運営など裏方に徹する者、様々な形でハンドボールに携わり、子供たちに明るい未来を切り開いて上げられる大人になってほしいと思います。

ディット インカレの優勝を祈っています。“おじゃま”しました。

## 3大広場のネーミング募集 「ゴビー広場」 「図書館前広場」 「白水広場」に



学生部は、学内における案内等の利便性を図る目的として、滝春・白水キャンパス内にある広場「大学祭のメインステージも設置される芝生の広場」、「図書館の前でピロティと呼ばれることもある広場」、「白水校舎に囲まれた広場」の3ヶ所に親しみやすい広場の名称を9月30日より5日間にわたって学生・教職員に募集し、第1次選考で各広場の名称各10候補を選考。この選ばれた広場候補名称について11月11日から15日にわたって「広場名前付けアンケート」を実施したところ、投票総数1,066票あり、最も投票数の多かった名称をそれぞれの広場名称として確定した。

12月18日(水)第1会議室において、澤岡学長から各広場の名付け親になった教職員・学生らに金賞・銀賞・銅賞の表彰を授け「大学を愛する気持ちから名前を付けて頂き有難う」との挨拶がありました。各広場の名称及び発案者(表彰者)は次の方々です。(敬称略)

### 大学祭のメインステージも設置される 芝生の広場

金賞 ゴビー広場 00 E 村田享紀  
銀賞 セントラルガーデン 無記名  
銅賞 緑の広場 教職員 肥田 聡

### 図書館の前で

#### ピロティと呼ばれることもある広場

金賞 図書館前広場 98 E 深尾達也  
01 A 野呂尚司  
01 D 古川崇史

### 白水校舎に囲まれた広場

金賞 白水広場 教職員 井上茂樹  
銀賞 ホワイトガーデン 01 M 川添聡一  
銅賞 白水ガーデン 01 D 三浦 要

## エクステンションセンターニュース 「基本情報技術者試験(秋期)」に5名合格!

情報技術関係資格のなかでも難関の一つと云われている「基本情報技術者試験」合格発表の結果通知が11月19日、センターにおいて00 D 伊東享彦さん、00 D 中川喬博さん、00 D 深田紘策さん、99 E 小栗章宏さん、00 E 宇城公福さん」の5名の方々が合格されました。

「基本情報技術者試験」は、主としてプログラム設計とプログラミングを担当する方、または将来それらを目指す方の登竜門的な試験で10月20日(日)に試験がありました。

12月4日(水)学長室において、澤岡学長から5名の合格者らに、このほど発行された学長著書「日本企業はN A S Aの危機管理に学べ!」を贈呈し合格を祝いました。

### 合格者の方々からの助言

**00 D 伊東享彦さん**：将来、コンピュータ関係のSEを目指している。実践的な知識を得ることができた夏期講座は非常に役にたった。“成せば成る”の心を持って挑戦すれば、克服できる。

**00 D 中川喬博さん**：受講料は高いが、資格取得を目指すのなら損はない。短期間で実践的なことが学べ、重要な点は繰り返し講義をしてくれるなど、授業雰囲気が良い。

**00 D 深田紘策さん**：興味さえあれば勉強することは苦にならない。プログラムを教えてくれる友人がいない人などは、講座を受講することを勧めたい。頑張れば合格できる。

**99 E 小栗章宏さん**：2度目の受験で合格することが出来た。最初の失敗に挫けずに勉強を続けたことが合格に繋がった。

**00 E 宇城公福さん**：講座は重要な点を中心に講義が受けられ、効率的に勉強が出来た。夏期休暇の半分以上は勉強に費やしたが、就職活動の自己PRの材料になるので、資格取得して良かった。



### 平成14年度資格取得者数状況(中間集計) 2002.12.17現在

資 格 名	合格者数
基本情報技術者試験(秋期)	5
初級システムアドミニストレータ試験(秋期)	13
カラーコーディネーター検定試験(3級)	27
MOU試験 Word2000 / 一般	17
MOU試験 Excel2000 / 一般	31
公務員試験	10

エクステンションセンターでは、基本情報技術者試験にチャレンジする人のために「基本情報技術者試験(春期)対策講座」、再チャレンジする人のために「基本情報技術者試験(春期)直前模試・演習講座」を用意しています。自学で挑戦するもよし、センターの講座を利用するもよし。自分の可能性に積極的にチャレンジしよう。学生諸君の検討を祈る。

## (財)中部科学技術センター 本学の研究施設を見学



中部科学技術センター主催による本学研究施設見学会が12月10日(火)開催されました。中部科学技術センター岡部専務理事をはじめ、企業関係者50名余の研究開発担当者が、新機能性ナノ粒子、燃料電池、ロボティクス・メカトロニクス、スピエレクトロニクス、光・熱・におい複合環境評価の各ラボ及び情報学部の演習室を熱心に見学されました。引き続いて行われた交流会には、澤岡学長も参加され、終始熱心な技術開発談義があり有意義な交流会でした。

## プレミア試写会 “マイノリティ・リポート”に協賛

本学が協賛した「マスコミ合同プレミア試写会（主催 中日新聞社他4テレビ局）20世紀フォックス映画。トム・クルーズ主演、スティーブン・スピルバーグ監督作品「マイノリティ・リポート」が、11月17日（日）に愛知厚生年金会館で上映されました。

映画は、犯罪が予知できる近未来、殺人は回避され、犯行前に犯人は捕まえられてワシントンでは殺人事件はゼロに。完全無欠と思っていた予知システムにも、冤罪のケースもあり得ると分かる。スリリングなアクション・アドベンチャー。

トム・クルーズの来訪による前評判もあり、募集定員4,500名（3回上映）に30,833名の応募があるなど、当日は、抽選に当たった人達で、会場の愛知厚生年金会館前には長蛇の列ができて大盛況でした。



## 防災訓練 その日に備えて

東海地震の対策強化地域に指定された名古屋市。その日に備え、防火・防災に関する意識の高揚と知識の普及を図る目的で11月11日（月）防災訓練が行なわれました。高層棟（滝春キャンパス）での本格的な防災訓練は初めてとあって、教職員・学生ら440余名、名古屋市南消防署からも消防車4台（内1台はしご車）救急車、市消防局ヘリコプターが訓練に参加。午前11時、本館1階・4階実験室から出火したとの想定。非常放送により、教職員・学生らが避難誘導班の誘導に従って、一斉に非常階段から避難を開始。消化器班による初期消火、市消防局のヘリコプターが飛来し、屋上から人が医薬品の上げ下ろしをしたり、ベランダから人が人を運び出して救急車で搬送。消防車・はしご車が一斉に放水して訓練を終えた。名古屋市南消防署長から「実際に即した形で、全員の非難が9分間で出来たことは評価に値する」との総評。防火管理者はじめ学園関係者は学園全体の防火・防災についての課題点などを確認しました。



## 豊明中学校職場体験学習



太田建築学科研究室に12月5日（木）豊明市立豊明中学校2年生小久保孝紀君（写真左端）が、進路学習の一貫として「職場体験学習」で訪れました。太田研究室では、「材料実験」の授業に大学生らと一緒に受講。鉄筋の応力と歪について、太田教授の説明を真剣な眼差しで聞き入り、引張り試

験機で鉄筋が引き伸ばされ切断されるまでの実験に立ち会った。鉄筋が突然大きな音を立てて切断されると、学生らと共に悲鳴を上げるなど、鉄筋は曲げたり、折れたりすることは知っていたが、伸びて磁気を帯びることに感動し驚いていました。

後日、小久保孝紀君からお礼の手紙に「こうした体験を将来に役立てたいと思っています。これらの貴重な体験ほんとうに有難うございました。」と結ばれていました。

## 大学連携講座「街の診かた、直しかた」

名古屋市教育委員会主催「大学連携講座」は、市民のより多様化・高度化した学習要求に応えるために、名古屋市生涯学習推進センター（中区新栄三）が、大学等高等教育機関と連携し、幅広い課題に対応する講座を企画。社会交流センターをはじめ名古屋大学、名古屋工業大学等、前後期あわせて12大学が参加協力した。



生涯学習推進センターでの会場にも拘わらず「街の診かた、直しかた」と題して10月15日から11月26日（19:00～20:30）全7回に建設系の教員が協力。人生は若い時と老いた時があるように、街も発展と衰退を繰り返している。街は公がつくる時代から、市民がつくる時代へと大きく変化、こうした時代の変化の中で、どのように診て、どのように直せば魅力的な街になるかを、様々な観点から論じた。

受講生（一般社会人）18名は、身近な社会問題だけに、活発な質問・意見を述べるなど、熱心に筆記する受講生の姿がありました。

（事口教授：街づくりの知恵、堀内教授：堀川を調べる、大東教授：汚れた土地の再生、光田助教授：おいと生活、渡邊講師：街の暑さ寒さ、笠嶋教授：つきあいの空間学、舟渡教授：都市の迷惑解消法）

## 昭利生涯学習センター支援講座「レッツ!!まちづくり」



名古屋市昭利生涯学習センター（昭和区石仏町）は、地域で活動している女性を対象に、コミュニケーションの取り方やパソコンの活用など、さまざまな視点からまちづくりを学習する講座「レッツ、まちづくり：地域で活動するあなたへ」を開設しました。

この講座に、社会交流センターをはじめ南山大学、愛知教育大学、UFJ総合研究所など10教育機関等が支援。本学での講座は、10月30日、11月6日の両日、午前午後4時間「地域で活かすパソコンの活用：チラシ作りとホームページの作成」を担当。情報教育センターの協力を得て、松浦章裕情報機械システム工学科助教授が指導。受講生のご婦人方22名は、院生らの補助を受けながら、チラシやHP作りを熱心に受講しました。受講者らは、初めて来学された方々で「素晴らしい大学ですね。14階のラウンジで食事をして来ました。と誇らしげに語ってくれました。

また、松浦章裕情報機械システム工学科助教授は、名古屋市南生涯学習センター主催（写真）のパソコン講座「Excelの基礎」、9月24日～27・30日の全5回も担当されました。

# 平成14年度の就職状況と 3年次生就職担当 教員からのアドバイス



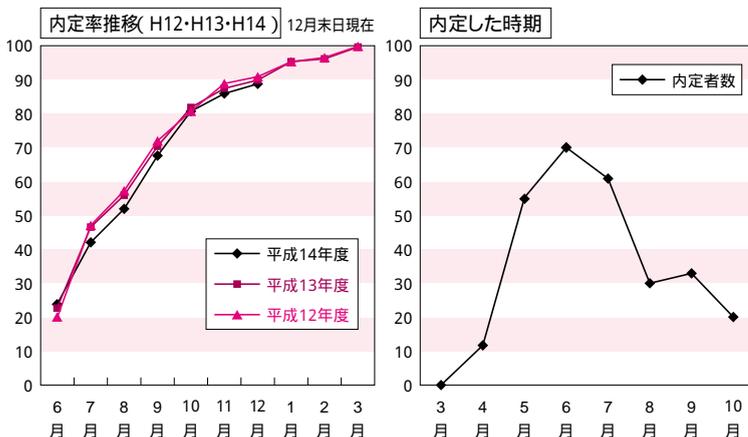
就職指導部長 井上茂樹 教授

就職ガイダンスで「就職の鍵は自己分析にあり」と言っておりますが、自己分析を行いましたか?自己PRで主張したいことは自分の成長とともに変わりますので自己分析は継続して行わなければいけません。毎年の事ながら先輩の反省の中で最も高い割合を占めるのが「もっと早くから自己分析しておくべきだった」ということです。

今年度の就職は残念ながら過去最悪の内定率で推移しております。企業の選別が厳しさを増しているにも拘らず、「何とかなるんじゃない」と言う甘い考えの学生が増加していることが大きな原因です。皆さんの自分勝手な判断は決して良い結果を生みません。どんなことでも躊躇することなく、就職指導部、卒研指導や就職担当の先生のところに早く相談に来て下さい。それが満足のゆく会社から早く内定を貰う近道です。

## 1 就職内定状況

深刻な経済状況を反映して、本学(学部)の就職内定率は90%(12月末日現在)と厳しい状況にあります。就職戦線最終局面といえども70名の学生が就職活動中です。尤も、近隣工科大学の就職内定率を上回って推移していることも事実です。不況下にあっても、面倒見の良い大学のキャッチフレーズに負けまい、100%内定に向けて努力していきたい。一方、大学院は早々と100%内定を達成しています。



## 2 平成15年度(現3年次生)就職スケジュール

3年次生は2月から企業訪問スタート

3年生の皆さんは自己分析が出来ましたか?自分はあるどのような職業のどのような職種に向いていると考えますか?自己を知ること、相手方の研究、即ち、業界研究や企業研究が不可欠です。次のステップはいよいよ行動開始、就職支援ページの企業情報検索システムやインターネットで情報を入力し、積極的に会社説明会やセミナーに参加し、企業訪問を行いましょう。とりわけ、2月26日(水)午後の本学主催の企業説明会には、名古屋国際会議場に200社の優良企業をお招きします。必ず出席し、希望の会社にエントリーしましょう。

就職試験の最大の難関は面接です。学生時代に何に打ち込んだか、どうして当社を希望したのか、当社に入って何をしたいのかについて必ず聞かれます。自己分析と企業研究を十分に行い面接に臨んで下さい。君の意欲が相手の扉を開くカギです。

### 平成15年度就職指導スケジュール大綱

月 日	内 容
1月10日(金)~17日(金)	第5回就職ガイダンス[企業講師講演、質疑応答]
1月14日(火)~16日(木)	大学院生就職ガイダンス
1月22日(水)	第2回女子学生就職ガイダンス
2月5日(水)~17日(月)	大手・上場企業対策講座 - 希望者対象
2月18日(火)~20日(木)	第6回就職ガイダンス[企業説明会案内、注意事項]
2月24日(月)~28日(金)	S P I 対策講座 - 希望者対象
2月26日(水)	企業説明会(名古屋国際会議場)
3月3日(月)	企業説明会(浜松)
3月5日(水)	企業説明会(四日市)
3月10日(月)	企業説明会(岐阜)
3月17日(月)~19日(水)	面接対策講座 - 希望者対象
3月24日(月)~25日(火)	第7回就職ガイダンス[面接の仕方]

## 3 就職担当教員から就職一口アドバイス

機械工学科 伊藤昇一教授・近藤巖教授



伊藤教授

2004年度の経済活動について、「6-7割の経営者は上昇の兆しがなく見通しはさらに低下する」とある新聞調査で述べられています。このような時期に就職を希望する諸君らにとっては、大変厳しい状況下にあるといわざるを得ません。

したがって、諸君らが希望する業種、さらに職種について、それへの適性、己の能力について十分に熟慮して定めていただきたいと思います。次には、会社受験への準備を怠り無く進め、希望する企業への就職を成就してください。



近藤教授

電気工学科 関谷昌久教授



日本経済は、極めて厳しい状況下にあり、就職戦線は今後も年々厳しさを増していきます。しかし、就職すれば、皆さんは世界で最も高い賃金をもらうことになり。厳しい競争に打ち勝つためには、一日も早く、自分の進むべき方向づけをし就職活動を開始することが肝要です。自信をもった積極的な就職活動ができるように、新聞やテレビニュースを見る習慣を身につけて正確な社会情勢を把握し、いっそう基礎学力に磨きをかけてください。

建設工学科 土木工学専攻 久保田稔教授



「超氷河期の就職」、「超就職難時代の到来」等と、新聞で毎日報道されています。確かに、新聞に書いてある事は事実ですが、このような見出しに心を惑わされ、自分自身を見失う事が一番危険です。

自分の適正を良く見極め、適正にあった会社選択を積極的に行えば、必ず就職活動は実のある結果になります。就職するのは、君達自身なのです。何をやりたいのか、何に向いているのか良く考え、自分の進むべき方向へ力強く一歩を踏み出してください。

建設工学科 建築学専攻 光田恵助教授



例年、就職活動状況を見ていますと、早くから積極的に活動している学生は希望に合う企業から、比較的早く内定をもらっているようです。早く就職活動をスタートさせるためには、まず、自分の希望をはっきりさせることが大切です。自己分析、企業研究を充分に行い、自分自身が本当にやりたいことを考え、勤めたい企業を決めていきましょう。そして、迷ったり、わからないことが出て来たら、一人で悩んでいないで、家族、就職指導室、卒研指導の先生に相談しましょう。もちろん、私も就職担当として皆さんを支援していきたいと思っています。

応用電子工学科 愛知久史助教授



平成14年度の就職状況は、非常に苦戦を迫られたと感ずる。そのひとつは、社会経済の低迷が続いていること。二つ目は、厳しい社会情勢に対する学生諸君の意識が弱いことが挙げられる。おそらく15年度においても厳しい就職戦線になると予測される。この情勢を乗り切るためには、学生諸君が企業から求められる資質を持つことである。基礎学力はもとより、行動力と熱意を持って就職試験に挑んでほしい。

(就職指導室)

# 使命

朝日新聞記者の取材記事。澤岡昭学長が提言された掲載記事を紹介し、司会：朝日新聞社論説委員 渡辺 斉氏、朝日新聞広告部提供）



大東工業大学 澤岡 昭氏

# 環境を考える： 工学研究の場から

朝日新聞名古屋本社企画、「環境との調和」こそ、工学研究の使命と題して中部地区6大学座談会が、12月14日の朝刊に掲載されました。澤岡学長が提言された掲載記事を紹介し、(司会：朝日新聞社論説委員 渡辺 斉氏、朝日新聞広告部提供)

20世紀は科学技術がめざましい進歩を遂げた。しかし、その半面で地球温暖化など、地球環境の負の側面も生み出した。21世紀は科学技術と環境の調和がより問われている。環境を念頭においた工学研究・教育を迫られ、大学の果たすべき役割はいつそう強まっている。そうした問題意識から、地球環境について、研究・教育の現場から自由に語って頂いた。

## 人間的、良心的なエンジニアを育てたい

澤岡 昭 学長

司会 学生の理工系離れが問題視されていますが、本年は、昨年の野依先生に続いて、小柴、田中両先生がノーベル賞を受賞されるという快挙で、かつてないほど理工系への関心が高まっています。また、科学技術と環境の調和が求められる中、あらゆる場面で、環境を念頭においた工学研究と教育が求められています。そこで、環境という言葉キーワードとして、その取り組みについてお聞かせ下さい。

澤岡学長 本学は、伝統的に鉄鋼産業と大変深い関係を持っております。オイルショックの前後には、鉄鋼業界が、煙突から赤い煙を出す、環境破壊の元凶のように思われていました。これをどうにかしなければならぬと、いろいろ考えられましたが、コストが膨大にかかり、このままでは日本の鉄鋼業は成り立たなくなるのではないかと思われていたのですが、たゆまぬ研究の結果、五・六年でコスト面も含めてクリアすることができました。これこそが科学技術の力だと思っています。このように環境問題も科学技術で解決できることがわかったわけです。しかし、そこには常にモラルの問題が立ちふさがっています。

企業の中には、環境問題は避けて通れないが、できれば安いコストで何とか切り抜けようと考えているところもありますが、いつかしゃべ返しをくらうと思います。そこで、モラル教育の必要性が生まれます。現場から離れて研究をしている人たちは、環境問題に対して観念ではわかっていても、時として、現場の実感とは乖離したものがあります。研究者も社会と

のつながりを常に考えるべきです。本学では教員を含めてモラルを踏まえた教育を進めなければならないと考えています。そのひとつとして、都市環境デザイン学科を設置し、社会と工学の融合を考えた新しい環境との関わり方を追求し始めたところです。

司会 確かに、環境問題は、それこそ身の回りのごみ処理の問題から、社会環境、福祉環境、そして地球環境、さらには宇宙環境にまで広がり、逆に言えばあいまい茫漠になりがちです。とはいえ、やはり環境問題は、われわれにとって大きな問題です。これに関し、さらなるご意見をお聞かせ下さい。

澤岡学長 環境の問題であっても、エンジニアがいかにか人間であるか、いかに良心的であるかということに尽きると思います。しかし入ってくる学生を見ると、必ずしもつけがよくできているとはいえない。私どもは、「教育重視型大学」であることを宣言し、それに向かってさまざまな試みを行っています。また人間教育にも力を入れています。

そのひとつがモラルの問題です。つまり、社会規範を遵守できる人材を養成する大学になりたいと考えています。たとえば、二年前に新しいキャンパスができたとき、全館禁煙にしました。駅から校門までの300メートルの間もくわえタバコをなくすキャンペーンを開始したところです。これは、人に迷惑をかけないという基礎の基礎を徹底するためです。多くの大学が教養学部を解体してしまいましたが、私どもでは、教養部を独立させて、そこで基礎教

育の徹底を図っています。これこそが環境教育の原点ではないかとも考えています。

司会 環境問題は、単に日本だけでは解決できない問題が多いと思います。たとえば、大学間での国際交流、国際研究もすすんでいるとかがっています。そのことと、最後に、大学の今後の姿についてお話し下さい。

澤岡学長 私どものところでは、伝統的に金属加工の分野が強いのですが、その関係で、ドイツのアーヘン工科大学との間で、いかに少ないエネルギーで金属を成型加工するかという共同研究を長く続けております。その成果として、はるかに少ない消費エネルギーで金属を成型加工する技術が開発され、自動車部品はじめ、多くの分野に大きく貢献しています。また、自動車関連企業から教授を招聘し、現場を踏まえたさらなる共同研究をドイツと続けることにしています。

本学の特色としては、63年前の建学の精神、「中部が必要とするエンジニアを養成する学校」という非常に具体的な理念があります。

現在、多くの製造業が中国へ移転していますが、それでも、中部にあって、利益を上げ続ける企業が必要とする新しいタイプのエンジニアの養成を行います。つまり、まず人間としての教養をそなえ、そして、もの書きができるエンジニアの育成を目指しています。また、工場の移転で空洞化した、南区港湾に近い大学周辺の緑化をはかり、われわれの手で、大学を中心とした街づくりに取り組んでいきます。

クリーン  
キャンパス  
キャンパスが変る  
ゴミが消える  
明日のエネルギー  
になる



## キャンパスカレンダー

### 1 月

- 21日(火) 後期定期試験期間  
(休日除く2月4日まで)
- 22日(水) 第2回女子学生就職ガイダンス

### 2 月

- 3日(月) M方式入学試験
- 5日(水) 後期追試験  
(7日土日除く10日まで)
- 7日(金) 前期入学試験(A日程)
- 8日(土) 前期入学試験(B日程)
- 12日(水) 卒業研究発表(14日まで)
- 18日(火) 第6回就職ガイダンス(20日まで)
- 20日(木) 後期試験結果通知書配布  
・異議申請受付期間(21日まで)
- 24日(月) 大学院後期入学試験(修士課程)
- 25日(火) 大学院後期入学試験(博士課程)
- 26日(水) 就職・企業説明会  
(名古屋国際会議場)

### 3 月

- 3日(月) 就職・企業説明会(浜松)
- 5日(水) 就職・企業説明会(四日市)
- 10日(月) 就職・企業説明会(岐阜)
- 11日(火) 後期入学試験
- 20日(木) 学位記授与式・卒業パーティー
- 21日(金) 春季休業開始(春分の日)
- 22日(土) 学修指導期間(日除く25日まで)
- 24日(月) 第7回就職ガイダンス(25日まで)
- 26日(水) 在学生ガイダンス(土日除く31日まで)  
～00生履修ガイダンス(4年次)
- 27日(木) ～01生履修ガイダンス(3年次)  
健康診断(4年次生)
- 28日(金) ～02生履修ガイダンス(2年次)  
健康診断(3年次生)
- 31日(月) ～00生履修ガイダンス(1・2・3年次)  
健康診断(2年次生)

### 4 月

- 4日(金) 入学式
- 7日(月) 新入生オリエンテーション(9日まで)
- 10日(木) 前期授業開始
- 17日(木) 履修申請確認表配布(18日まで)  
履修申請変更申請書受付  
(休日除く5月9日まで)

## 人事室

### [採用]

専任教育職員 平成14.11.1付  
小川一美(教養部教職課程講師)

### [委嘱]

平成15.1.1付  
社会交流エクステンションセンター長  
笠嶋 泰(任期:平成15.1.1～平成15.9.30)

## CRCニュース

### 産学交流テクノフロンティアに出展

「産学交流テクノフロンティア2002」(主催/愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、中小企業総合事業団)は、10月16日(水)～18日(金)、名古屋市中小企業振興会館で開催されました。このイベントは従来の「テクノフロンティア愛知(愛知県主催)と「産学交流プラザなごや」(名古屋市・名古屋商工会議所共催)が一体となって実施。理工科系大学の研究室、公設研究機関が取り組んでいる最先端の研究内容と中小企業の研究開発した環境、医療・福祉、情報・通信分野などの新技術・新製品を一同に展示紹介し、相互の交流と連携を深めることを目的に企画された。本学からは、小野、西堀、神保、堀尾、藤田各研究室、及びリエゾンオフィスが出展。また岩間副学長が「新機能をもつナノ粒子の製造とその用途開発」と題して講演されました。



## 中部経済産業局施策説明会

CRC主催、経済産業局の平成15年度産学官連携による主な研究開発助成事業の説明会が、12月17日(火)、本学14F交流室において開催されました。経済産業局施策説明会には、大同特殊鋼関連企業、CRC関係企業の研究開発担当者及び本学関係者約30余名が参加し、国の研究開発助成事業について活発な質疑応答がありました。

「産業クラスター計画と  
大学等発ベンチャーの創出に向けて」  
講師:中部経済産業局  
企業育成総合支援室 佐々木昌子氏

「知的財産戦略について」  
講師:中部経済産業局 産業技術課  
特許室長 甲斐憲一氏

「平成15年度産学官連携の  
主な研究開発助成事業」  
講師:中部経済産業局  
産業技術課長 星野章氏



## YACニュース

### 宇宙探検ミッション “火星基地をつくらう”

日本宇宙少年団名古屋支部(社会交流センター南分団事務局)は12月14日、2010年火星に居住するミッションに任命された宇宙少年団員の発表会が、石井記念体育館に澤岡学長、宮崎宇宙少年団副本部長らを迎えて行われました。発表会は、ロケットチーム、基地チーム、パイオチーム、探査チーム、エネルギーチームの5チームから創造的な発想を駆使した「スペースブリッジ2002名古屋/火星探査計画」の作品を発表。2003年8月27日に火星と地球の大接近があり、団員の高揚を促す目的として企画され、宇宙少年団員65名に加え保護者、主催者関係者ら120余名が参加。各チームの少年団員は、9月から、的川文部科学省宇宙科学研究所教授、澤岡学長ら専門家の教えを受け、高校生・大学生SEの手を借りて、火星移住に必要なものを段ボールなど使って製作した。小学生の団員一人が「火星虫だよ」と、手に掲げて得意満面になって話してくれました。



## 訂正とお詫び

42 P.16 INFORMATION「人事室」の記述で、誤りがありました。訂正し、お詫び致します。  
退職教育職員 渡辺博明(教養部人文社会教室助教授)の退職期日は、平成14.9.17付けではなく、平成14.9.30付けの誤りです。  
大学院客員教授 飯田康夫は、[委託]ではなく「委嘱」の誤りです。

## 編集後記

名古屋では新年の幕開けに相応しい暖かい正月を迎えた。きっと、この陽気のように、良い年になる。と思っていたら、授業始め(仕事始め)の1月6日は寒波の襲来により、今冬初積雪に見舞われて、交通機関が乱れに乱れ、散々の初出勤となりました。

社会交流センター  
E-mail: pccir@daido-it.ac.jp  
大同工業大学ホームページ  
http://www.daido-it.ac.jp/